



# 上海－成都－雅安



大熊貓とオーダーメイド  
2011夏旅行記

harebuta

## 初めての夏 上海

---

2011年8月8日。成田ー上海・成都ー成田の特典航空券をゲットし、7ヶ月ぶりに上海に降り立った。

11:43に着陸して12:26分発のリニアに乗れるんだからスムーズったらありゃしない。手荷物を機内に持ち込めるサイズにした甲斐があるというもの。

夏に中国大陸に行くのは今回が初めて。街中の街路樹がどんな風に茂っているのかを楽しみにしていた。リニアの車窓から見える木々は青々と繁り、カンナや百日紅、夾竹桃の鮮やかな花が彩りを添えている。

蒸し暑い南京東路の歩行街には背の高いポプラが木陰を作り、街歩きの人々がベンチで一休み。私たちも木陰を縫って歩く。ちょっとの雨くらいならしのげそうな葉陰だ。

今回の旅程は、上海ー成都是夫と一緒に。その後私は成都から帰国し、夫は烏魯木齊まで足を延ばす事になっている。なのでそのチケット代、服のオーダー代にパンダ抱っこ代と、いつもより多めの金額を両替しなければ。

レートは1元=12.5円 中国銀行だとレートはもっと良いらしいけど、つつい便がいいので南京東路沿いの中国商工銀行で両替をしてしまう。百元札の束（帯封した束が二つとばら銭）をカバンに押し込んで、今回の宿へ。

常宿にしている南京東路沿いのクラシックホテル東亜飯店がえらく高値で、今回は二本道を隔てた辰龍商務飯店をエクスペディアで予約した。チェックイン時にカードで既に支払っているにもかかわらず、支払い求められて、エクスペディアに確認の電話をしたりとちょっと揉めたけど、ぶじ入室出来た。冷房をガンガンに効かせて一休み。

軍資金を分け持って、今日はとりあえずチケットの受け取りと服のオーダーへ。

いつもお世話になっている旅行会社、旅悟空さんへの道の途中には香港発のシノワズリブティック「上海灘」が有る。折しも夏のセール中。つついコットンニットのカーデガンを購入してしまう（だってほぼ半額だったんだもん）。ドラゴンや老虎模様入りUSBメモリとか誰が買うんだろう。ゆっくり店内を物色したいけど時間もないので急いで買い物して店を出る。

店の目の前にもポプラ並木。ものすごい音量で蝉が鳴いている。秋には大量の落ち葉で埋め尽くされるんだろうなあ。

旅悟空さんでチケット代を支払い（ばら銭と前回からの持ち越しの元が飛んでいった）、上海ー成都、成都ー烏魯木齊、烏魯木齊ー上海のチケットを入手。今回成都行きは安いチケットが入手出来たけど、烏魯木齊ルートはノーマルクラスのチケットしか買えなくて少々お高い（といっ

ても成都ーウルムチー上海で2960元)。しかしこれが後でとんでもない効果を発揮することになるとは、この時は思いもよらなかったのである。

上海の着倒れ...という言葉があるかどうかは知らないけれど、腕のいいテーラーは「上海テーラー」と看板を挙げたりすることから、上海は服飾の街と言うイメージがある。オーダーメイドを請け負う高級ブティック以外に、布市場でもその場で布を選んでオーダーすることが出来る。布もウールにカシミア、デニムに綿ブロード、リネン、ジャージ、サテン、ラメ、ジョーゼット...毛皮や、オーダー編み物の店もあり、服だけでなく小物なども注文できるらしい。

服飾市場は上海市内に何カ所か有り、以前は十六鋪布市場と言う所で仕立ててみたけれど、今人が集まるのは断然『南外滩軽紡面料市場』。地下鉄の南浦大橋駅から歩いて5分ほど。日本人もだけど欧米人客が多く英語の通じる店も多い。

年末に夫がオーダーしたリネン生地のチャイナジャケットが非常にいい感じなので、今回はそこで夏用のシャツと長袖ジャケットを追加オーダーしようという魂胆である。

冬に利用したお店はすぐ見つかって、長袖ジャケット4枚と半袖チャイナシャツ3枚。日本から持ち込んだ短パンを見せるとすぐに「こぴー？」と聞いてくれて話が早い。ちょっとサイズが大きめだったのでジャストサイズのを2枚仕立ててもらうことにした。次々布を選んで採寸をしてもらう夫の姿を見ているうちに、何だか私も作ってもらわねば、と言う気分になってしまい、リネンやコットンの生地を選んでパンツを4本ほどオーダー。計13着でお代は布代仕立て代込みで2100元(約26250円)1着2000円少々。私たちのようにLの上に複数のXや数字が付くサイズの間人にとっては有り難いことこの上ない。片言の英語と筆談と、イラストで意志が通じるのも大変助かる。夫が帰国日の18日に全て引き取りに来るということで、今回は全額支払いも済ませて気分良く店を後にした。次回こそパーティーに来ていくようなド派手なのを一着仕立てねば...

市場の周辺にはスナック屋台や果物屋台が出ていた。小腹が空いたので薄焼きクレープに具を包んだ焼餅や、葱入り窯焼きナン、大根揚げ餅などをパクついて、駅まで歩き出したあたりで雨がぱらつきだした。

ホテルに着く頃にはかなりの雷雨。しばらく止みそうにないので洗濯したり日記付けたり。20時過ぎてようやく小降りになったので、私はスーパーへ買い出しに、夫はホテル内のマッサージ店へ。

スーパーでは水と、袋入り調味料などを購入。マッサージは1時間50円で気持ちよかったとのこと。

21時過ぎ、路地裏の河南拉面の看板の店に夕飯を食べに行く。

今回の旅行で想定外だったのは、大陸の庶民派レストランや食堂には冷房が入らない、ということ。せっかく着替えて洗濯しても、夕飯を食べに行くと汗だくになってしまってまた洗濯をす

る羽目に陥ってしまった。この店は小さな屋台に毛が生えた程度だからそうなのかな？と思っていたら、大きめの店でもそうだった...うかつ。香港や台湾みたいな寒くなるほどの冷房って贅沢だったんだなあ。

ラーメンと言っても、タレと具が乗った和えそば的なもの（でも麺は手打ち）にスープが付いて、ビール一本頼んで二人で20元。客は我々だけなので店主が気を遣って扇風機（ものすごい強風）を私たちの方にと向けてくれる。ペなペなのプラコップ入りビールが飛びそうになるのを押さえつつ、完食。コンビニで追加ビールを買って、ホテルに戻って就寝。

8 / 9

夜間また雷が鳴ったり雨が降っていたようだけど、翌朝は薄曇り。8時オープンの上海野生動物園にオープンと同時に入園するために6時ちょい過ぎにホテルを出発。

いつもの中華鍋おこわ屋さんに立ち寄って、軽く朝ご飯を食べ地下鉄で張江高科駅に移動。

駅前に様々な朝ご飯屋台があって目移りする。昨日と似たような薄焼きクレープに肉や野菜、お粥のお伴でよく見かける油条を巻き込んだハイカロリーな一品、2.5元。特製のタレが甘辛くてウマー！と、2度目の朝ご飯を頬張りながらバスの出発を待つ。次々乗客が乗り込んできてすし詰めバスはコンピューター関連の会社で大多数の乗客を吐き出し、郊外に出ると今度は道路沿いに桃やスイカの屋台が並ぶ一帯を通り抜け、一時間ほどかけて7:46には野生動物園に到着した。

8時ジャスト、オープンしたチケット売り場では割り込み親父を撃退し、年末より10元値上がりして130元のチケットを購入。どうやら年パス制度も始まったらしい...3回来れば元が取れそう...いやいや。

オープンと同時に入園、にこだわったのは

夏暑い→パンダだれる→動くのは朝イチ→しかも多分展示は屋内→狭いからすぐ混むという経験則からはじき出した理由。そして予想は的中して今回パンダのほとんどは屋内展示。まあその方が涼しいので見る方も楽なんです。

野生動物園には「世博大熊猫」万博の時にやってきたパンダの内何頭かが残って展示されている。半分くらいは寧波動物園に移ったそう。冬に来た時はカメラのフレームにおさまりきらないくらいたくさんのパンダがコロコロしていた。何頭残っているのかな～と展示室に向かうが、二カ所所有る屋内展示室の片方はまだ清掃中。もう一カ所にちょっと年長の大人パンダが1頭。この人は世博パンダじゃないなあ。清掃は中々終わらず、屋外展示場は扉を開け放して工事中。

しばらく待つうちに清掃も終わり、4頭の世博パンダ達のがのしのとやって来た！柵すれすれの位置で寝転がって竹をはむはむしてくれる。かわいい...年末に見た時より大分大きくなってな～

パンダを見に来る人民の子どもたちの興奮ぶりが見ていてほほえましい。

4頭は各々好きな場所で竹を食べていたかと思うと、仲間の所にちょっかいを出しに行ったりまだまだやんちゃさが残っている。やがて狭い台の上で4頭並んでころころし出した。そのまま食後の休憩に入ってしまったようなので名残を惜しみつつワオキツネザルの島へ移動することに。

サル島に行く途中象に乗れるコーナーに立ち寄り、暑さで頭がハイになっていたのか日本で乗るより安いし〜と、20円で乗せてもらった。ごわごわしてた（笑）降りた後、横に並んで写真を撮ろうと思ったらカバンの中の食料のにおいをかぎ分けたのかカバンに鼻をつっこんできて、象使いのおじいさんに怒られてたけど。

象乗り場の出口には太いヘビを巻いて記念撮影、のコーナーも。冬にはないアトラクション満載だなあ。でも、さすがにこれにはトライせず。夫を焚きつけたけど、ヘビの口がセロハンテープで留められているだけなのを見て、ちょっと及び腰に。これでヘビ年の年賀状写真はゲットだ（笑）

前回の旅行記で書き損ねたのだが、この野生動物園にはとても楽しいワオキツネザルの放し飼いコーナーがある。ところが、いつもサルが飛び跳ねている原っぱにも、小屋の中にもサルがない。あっれ〜??と辺りを見回すと、一人の青年が原っぱを取り囲む林の中で上を向いている。

もしや、と林に足を踏み入れると、木の枝から無数のしましましっぽが垂れ下がっている。しっぽを触っても起きやしない。

木から下りてきた小猿が私のマフラーを引っ張って「ちょうだい？」とおねだりする。かわいいーっ

でも、もっと小さい小猿が見られると思ったんだけど、二ヶ月遅かったかorz  
涼しい木陰で猿たちと十分遊んだので、満足して島を後にした。

野生動物園でのミッションはサファリを残すのみ！

8時に入園してサファリカー乗り場に着いたのは11時。既に3時間も遊んでいますか、パンダと象とヘビとワオキツネザルしか見ていませんが...

入園券で普通のサファリカーには乗ることが出来る。しかし、私たちのお目当ては金属製の檻に囲まれた特別車。

追加で30元支払って檻の中で30分待たされる。暑いー、夫はベンチで横になる。11時半、出発間際になって家族連れやカップル、他に4組ほどの人民の団体が乗ってきてようやく出発！

今回は誰が60元払うのかな...

このバスは乗客の他に、雄鶏になりかけのひな鶏が数羽同乗している。そして檻の一部にはその鶏を放すための開口部があって、猛獣エリアでバスを止めて係のおっちゃんがむんずと雄鶏をつかむと、開口部から雄鶏を野獣の群れに！というアトラクション付きなのである。心臓の弱い方は注意！というあおり文句が入場券売り場には書いてある。今回、小さいお子さんがいますが...トラウマになったりしないかね？

おっちゃんも心得ていて雄鶏の足をつかんだまま、そう簡単には離さない。ほーらほーら、と目の前でぶらぶらさせてライオンを煽る。乗客は檻にがっしと組み付いたライオンの前足にタッチしたり写真を撮ったり。

命拾いした雄鶏がホッとするのもつかの間、虎エリアでも同じように開口部からぶら下げられる。で、最終的に虎のエリアで雄鶏はご臨終...ちなみに雄鶏は別料金で60元。今回はどのグループが払ったのか分からないけど、年末に我々しか乗客がいなかった時は大枚はたいて鶏さんに犠牲になって頂きました。多分市場で買えば10元とかなんだらうな、生きた鶏。

お腹も空いたし、なにより暑さに負けて12時には動物園を後にする。帰りのバスはそう待たずに来たので、冷房の効いた車内でしばし休憩。果物屋台に並ぶ桃がとても美味しそう。バスにも桃の入った箱を抱えた人が乗り込んでくる。冬に来ていた時はまさか果樹園だとは思いませんでした。

張江高科駅の周辺に朝食屋台はもういなかったが、バスターミナル周辺にはいくつか店が出ていた。冬に美味しい水餃子を食べた店は涼面の店になっていたの、面ではなく幅広の米粉でできた涼皮を食す。ゴマだれに酢が利いていてキュウリや香菜もさわやかで美味しい～！今までに食べたことがないゴマだれだ。木陰に小さい腰掛けと低いテーブルが並んでいるので、座って食べられるのも嬉しい。

呼和浩特（フフホト）名物の食莫（←これで一文字。も一、と読む。パスコのイングリッシュマフィン風のぱさぱさしたパン）を売っている屋台もあるので鶏肉とニンニクの芽を辛味噌で炒めたのを挟んでもらう。涼皮屋台の隣にも同じくも一の屋台。こちらは行列が出来ている。こっちも美味しそう、と列に加わると、煮豚を刻んで煮汁と香辛料で炒りつけるようにして、キュウリと一緒に挟んでくれる、も一はその場でタネから手焼き。こっちの方がもっと美味しい～！！皮がパリパリだ！！

汗かきかき、お茶やスポーツドリンクなど二人で2リットルは飲んで（500mlを2本ずつ買ったので）、それらを平らげた。あまりに汗をかく夫を見かねて涼面屋台のおばちゃんがティッシュを差し出してくれた。

香港の乾物屋でも汗を拭け、とティッシュをもらったよね...

お腹も満たされたのでホテルに戻ろうか、と地下鉄に乗ったところでふと気が変わる。中山公園駅には駅直結のカルフールがあるらしいので、暑い外に出ないで済むならそこで買い物をしよう。近くに大きな書店もあるらしいし。

ホテルのシャワールームの床があまりに汚いので、つかかけが欲しかったのである。夫は持ち歩き用のお茶ボトルとお茶っ葉、その他喜羊羊のハンドタオルや蓋付き容器など中国に行ったら必ず買う物もゲットして、書店に行くのにショッピングモールの上階を目指す。

上海NAVIのパンダグッズ特集で見かけた「HIPANDA」というブランドショップを見つけてしまい、セールだったもので服などを買ってしまう。目つきの悪いパンダのキャラクターが中々可愛い。

無駄に広いショッピングモールをうろついたら疲れてしまった。

書店には寄らずにホテルに戻り、洗濯して一息ついたところでまた雷雨が。出かけられないので昨日夫が利用したホテル内のマッサージサービスに二人で行ってみた。夫は今日も全身マッサージ、私はフットマッサージを。

ホテルの一室を施術部屋にしている怪しい感じにもかかわらず、20代前半くらいのかわいらしい胸の谷間が目の毒な小姐は、中々上手に揉んでくれた。ふくらはぎや太もものリンパの流れもごりごり、腰や背中まで揉んでくれてすっきり。

19時過ぎに雨の止んだところを、野菜が食べたいねと少し歩いてハルピン餃子館へむかった。茄子炒め、インゲン炒め、空芯菜炒め、青菜とピータンとスパムのスープ（これだけはイマイチ）にご飯で79元。コンビニで買ったビールもおいしく飲み干して満腹。

空芯菜は夏野菜の定番で、この旅行中何度食べたことになるやら。おかげで腹具合もずっと快調だった。

明日は成都へ移動。飛行機は11時台なのでのんびり朝ご飯出来るなあ。

深夜にチェックインしてきたらしい中国人客の騒音で夜中に起こされたりしたので、6時まで爆睡。7時に菜々屋、と呼んでいる小籠包屋へ。東亜飯店の裏口を出ると目の前にある早朝からやっているお店で、初上海の時から通っている。

上海に来たらやはり一度は小籠包を食べねば。それと、実はこの店は麺類も美味しいことに前回気づいたので、私は砂鍋肉細切りうどん、夫は大排面を。

小籠包は店の軒先で湯気を立てて常に蒸かされているので、すぐにやってくる。ふた蒸籠がすぐ空になった。

面はどちらも汁面で、出汁が利いていて美味しい。当然の事ながらクーラーの入らない店内で汗だくになって食す。

満腹になって店を出て、ホテルのすぐそばで朝から賑わう台湾路市場を見物。なつかしい昭和40年代風買い物籠をさげたおばあちゃんの籠の中身はトウモロコシと輪切りにした冬瓜。薄いビニール袋をぶら下げたおじいちゃんの手にも冬瓜。身体を冷やすという冬瓜はなつの食卓の必須アイテムなんだろうな、飛ぶように売れていた。

再度シャワーを浴びて8時過ぎにはチェックアウト。

時間があるのでリニアではなく地下鉄で空港に向かった。（ものすごいラッシュで後悔した...）

四川航空は一番端っこのAカウンターでチェックイン。絵ハガキ用の切手（4.5元）を購入したくて、郵便カウンターを探したらそれは反対側の端っこのHカウンターorz 延々歩いて切手を購入し、10時には搭乗口に着いた。搭乗口周辺には無料の給湯器もあり、ボトルと茶葉があれば熱お茶がすぐ飲めて便利。

ファミリーマートもあって、空港価格でなく飲み物も買えた。機内食がでない路線の人たちなのか、お弁当やカップ麺を買う人民も多数。ますます便利になる浦東空港、食堂の価格がもう少し下がるといいなあ。



## 成都へ CAさんに悩殺！

---

成都行き四川航空の機内に乗り込むと、なんとびっくりキャビンアテンダントさんはうら若き美女ばかり。しかも全員サテンのチャイナドレス着用！でも写真NGの様子。

中国国内線にしては機体も新しく、パーソナルモニターも付いている。プログラムも色々選べて、「喜羊羊与灰太狼2 虎虎生威（喜羊羊の寅年に公開した映画）」も見られた。機内食もカレー、チキンのおんかけ、茄子の焼きそばと3種もあって、何より機内食を配るカートの上に辣醬の瓶が！！ お願いすると、追加で載せてくれるらしい！！

さすが四川航空（爆笑）味もなかなか。ビールももらえるし、ドリンクの種類も豊富で中国国内線とは思えないクオリティ。素晴らしい！！！！！！

15時成都着。気温も湿度も上海といい勝負。

303番のバスにひとり10元支払って乗り込み、前回と同じ川沿いの濱江飯店を目指す。

4泊分の宿代とデポジットで800元を支払って通された部屋は...またもバス無しでしたorz  
洗濯用にたらいを買ってこなければ～。

荷解きをして休憩するとお腹が鳴る。バスで武侯祠まで行き錦里のパンダグッズショップ「熊猫屋」に行ってからご飯にしよう。

錦里も冬とうってかわってものすごい人出。冬はオフシーズンだったんだなあ。

パンダグッズショップの熊猫屋もオンシーズンに合わせたのか新商品がわんさか出ていて、姪っ子達に髪飾り、ハガキ、マグネット、扇子...夫よ、そのパンダ耳付き帽子とマフラーとミトンが一緒になった大変可愛い帽子を買おう？使うのね？うん...あなたなら恥ずかしげも無くかぶるよね...で、238元のお買い物。しかし本当にこのグッズは中国とは思えないセンスの良さで大好きだ！

バス停一駅分歩いて食堂を探す。麺（中国では面、と表記）の量を重さ（1～3両、1両5元）でチョイスできる店で空芯菜炒め、勾魂面、生椒牛肉面で、18元。

どちらもぴりっと辛くておいしい。量も小腹ふさぎにちょうど良い。

お伴は「チャイナポカリ」と呼んでいる「脉動 mizone」という現地のスポーツドリンク。ライチ味がお気に入り。

更にバス停1つ分歩いて、ディナータイムの準備をする食堂の前でうごうごしているザリガニや巨大タニシを横目で見つつバスを待つ。ホテル近くのカルフルの前まで乗って、飲料水や粉山椒を買ってホテルに戻った。去年散々通った職業訓練食堂は跡形もない。お兄ちゃん達どうしているのかなあ。

すっかり汗だくなのでシャワーと洗濯。20時頃まで休んで夕食へ。

コンビニでビールを買い、去年大晦日に兎肉を食べたレストランの隣（青石橋飯店と呼ぶ）で清炒茄子（塩味の茄子炒め。辛くなくておいしい。葱とショウガと鶏ガラスープで味付け??）、卵炒飯、涼粉（千切り生野菜とデンプンで作った面を黒酢だれで和えた物、さっぱりしてておいしい）を頂く。もちろん冷房は効いていません。汗だくですorz ビールとジュース18.7元、夕飯18元。相変らずご飯は安くておいしい...

夫がカミソリと洗濯用の桶を買いにカルフルへ行ってくれたので、先にホテルに戻って絵はがきなど書いて過ごす。上海野生動物園のワオキツネザルの島が失敗をくり返し展示が成功するまでのドキュメンタリーを放映していて興味深い。爆笑しながら見る。

夫22時半就寝、私も23時過ぎにはベッドに入った。

深夜、ものすごい雨と雷の音で目覚める。

巨大換気扇が部屋の中で回っている?と思ったくらい。再びうとうとして何故か木村拓哉に肩をもんでもらう夢を見つつ5時起床。雨は止んでいて一安心。

8 / 1 1 雨降ったり止んだり

6時過ぎ、1番のバスに乗れる乗り場まで歩いていく。前回買った成都の地図帳でバス乗り場を調べる内に、ホテルよりやや離れているこの乗り場の方が早くバスが来ることが分かったので、朝一番に「成都大熊貓繁育研究基地」にたどり着きたい我々は一も二もなくそのバス停を利用することにしたのである。

昭覚寺バスターミナルに着く頃には、また雨が本降りに。ありゃあ、と止まない雨を眺めつつターミナル前の食堂で一蒸籠3元の包子と細切り肉とザーサイの炒飯、黄ニラ炒めの朝ご飯。包子を追加注文してお弁当にした。全部で36元。

タクシーを拾って基地まで19元。雨はざんざんと本降りになってくる。とほほ。

7時半過ぎには入園。早朝にもかかわらず結構お客がいる。やはりオンシーズンなんだなあ。傘を差しつつ仔パンダ幼稚園の外展示、雨なのに外に出すんだなあ、と思いつつビデオを回す。

屋内展示室にはなんと、8 / 1 · 4 · 9生まれのちーっちゃん赤ちゃんパンダが保育器の中に入って展示されているではありませんか！！！！！！

ちいさーい、かわいーい（うるうるうる）ああ、感動のあまり涙が。一週間経つと白黒模様が出てきて豆大福みたい。二日前に生まれた子はまだピンクのねずみに毛が生えた程度。興奮して観覧していたら夫、傘を無くす。雨降ってるのに...

が、その頃から雨も止みはじめ（湿度も温度もガンガン上昇しはじめ）、室内展示場の左手側の屋外展示場には幼稚園の仔パンダよりもやや大きめの子とお母さんが。とにかくもうどこにかぶりついてピントを合わせればいいのか迷うほどパンダ。目を白黒させながら団体客をかき分ける。

冬に来た時は皆無だったのに、朝早くからJTO、Oビックス等の日本人団体ツアー客が結構な人数やって来ていた。でも哀しいかな、ほんの少し足を止めただけではい次に行きますヨーと移動していく。欧米人はフリーできていたり、ゲストハウスのツアーできていたり、ネームプレート国籍を見るとロシアやイギリス人らしい。

赤ちゃんパンダの保育器の前にはいつの間にもやらテレビクルーまで取材に来ている。そうでしょう、かわいいもんね。取材するよね。

ようやく落ち着きを取り戻したので、警備員に「大熊貓抱抱有没有？」と書いた（いいかげんな中国語です。でも意味は通じたらしいwww）メモを見せると左手を指さして教えてくれた。やってる？やってるのね？？

屋外展示場と屋内展示場の間の部分に、2, 3人が並んでいる。開いたドアの向こうに見覚えのある木のベンチが!!! 写真だ! パンダを抱っこして写真を撮った人はみんなあのベンチに座っていたよ!!!!

夫の鞆から100元札の束をむしり取り、「りゃんがれん!」と二本指を立てて窓口に顔をつっこんだ。

重い扉の中に入って消毒用マットを踏み、靴には不織布カバー、手にはディスポグローブ、カメラとビデオだけ持って鞆は預けて、青い不織布のスモックを着る。前に並んだ人たちが次々パンダを抱っこしている。みんな嬉しそうににっこにこしている。

順番が来ると、係のお姉さんがカメラを持って写真を撮ってくれるので、ビデオの方を渡して、デジタル一眼レフの連射モードでカメラは交代で構えることにする。

ジャッキー・チェンや各国要人も座ったベンチに腰掛けると、お姉さんが私の膝の上に仔パンダを乗せてくれる。

いやああああああん、もふもふう～

あったかくてころころでふかふかで、何とも言えない～

仔パンダがおとなしくするように、すぐそばに蜂蜜の瓶を持ったお姉さんもいる。

仔パンダがぎょろぎょろすると手に蜂蜜を塗り、舐めている間に写真を撮れ、と。でもカメラなんか見ることができるわけもない。だって膝の上にパンダ!!!!!!

あっという間に仔パンダを私の膝の上から抱き上げられ、夫からカメラを受け取り交代。夫も満面の笑み。あ、ずるい、耳触ってる。仔パンダの口元に手を持っていこうとするとさすがに止められていた(笑)

この2人がずっと笑顔の一部始終を写したビデオ映像のですね、撮影時間はわずか1分34秒。2人分支払った料金は2000元(約25000円)。

たっ...どこの高級〇俗店だよっ...

でももちろんいいのです。後悔なんかするわけ無いのです。

このためだけに成都に来たと言っても過言ではないのだから。

ああ、大声で叫びたい。

「パンダ抱っこしたぞおおおおお!」

(しばらく余韻に浸っているのでお待ち下さい...)

はあ、幸せな時間ってなんでこんなに早く過ぎてしまうのかしら。

冬にパンダ抱っこができないと判った時は、地獄の底に叩き落とされた位ショックだったけど、天にも昇る気持ちとはまさにこのことを言うのね？

その後もずーっと、ニヤニヤにまにましながら、すっかり雨もあがって日差しすら出てきた基地を、坂の上の青年パンダ展示場を目指して歩く。

気温はぐんぐん上がり、朝は涼しかったのに展示場の入り口には「パンダは暑さに弱い動物です、屋内にいます」と言う看板が。屋内展示場、といっても上海野生動物園と違ってここは全面ガラス張り。ガラスが汚いと見えにくいんだよorz

暑さにだれきって青年パンダはぴくりとも動かない。でもクーラーが効いて涼しいのでしばらく涼んでから坂を下りる。

朝には扉が閉まっていた14号展示室に灯りがついている。中で欧米人のお姉さんがリンゴでフィーディング(餌やり)をしている！

まだ大人になりきっていないパンダ達がちょーだいちょーだいと檻から前足を出す。至近距離！白浜アドベンチャーワールドのパンダ餌やりよりずっと近い！！(アドベンチャーワールドでの餌やりは既に数回経験済み...)

は一、最後にいいものを見ました。

気がつけば7時半に入園してもう5時間が経過。汗だくになって歩き回ってさすがに疲れた。(興奮しすぎだ)

さて、園外に出てお土産を買おう、と冬に熊猫爪ハンドマフを買った店の方へ歩いていく。ところが、店が見あたらない。忽然と建物自体が消えている。

間違えたかな？と周辺をうろうろするが間違いなくおみやげ物屋が有った場所にかれきが散乱している。これは...拆だ。

拆（ちゃい）。北京オリンピックの頃から聞くようになった言葉。共産圏の中国ではある日突然区画整理などの理由で家から立ち退きを命ぜられる事態がいまだにあるそう。

そして取り壊し対象となった建物には『拆』と大きくペンキで印が付けられる。

オリンピック直前の北京ではあちこちの建物（主に老朽化した住宅）でこの文字を見かけた。壊された建物のがれきに混ざって、ついさっきまでそこで人が生活していたことを示す生々しい跡をいくつも見た。万博前の上海でも同様だった。そして、今や成都でもこの文字を見ることがある。いつでも不條理な目に遭うのは庶民なんだよな。そりゃあ政府に対して不満も募るだろうよと、この文字を見るたびにこの国の強引な近代化政策の矛盾を感じていたのである。

おみやげ物屋の建物は跡形もなく消えていた。ここで働いていた人たちはこのオンシーズンにどこで何をしているのかなあ。

とぼとぼと引き返し、チケット売り場の横に出ていた店で熊猫爪を2個50元、パンダ顔ポーチを2個40元で購入。

じゃあバス停まで行こうか、と足を向けるとなんと、バス停近くの細い遊歩道に延々100メートル位におみやげ物の露店が！！！！フリーマーケットのように地面に敷物を敷いてぬいぐるみやキーホルダーやらありとあらゆるパンダグッズが並ぶこと並ぶこと。

そうだよな、建物が無くなった位で商売を諦める中国人がいるわけがない！！  
人民の商魂を甘く見てました（爆笑）

追加で熊猫爪2個40元、ポーチ40元は30元に値切って購入。

バスも程なくやってきて、ほくほくしながら帰路についた。13時過ぎにはホテル着。

シャワー浴びて洗濯して（たらいが有るので足踏み洗濯できてらくちん）一息。夫はソフィテルでネットしに（電波探しの旅、と呼んでいる）。

15時から17時までさすがに疲れて昼寝を決め込む（歳だなあ...）

17時半、兎肉の飯店で昼夕兼食。空芯菜炒め、黄ニラと豚肉炒め、苦瓜と豚肉炒め、雲白肉、冬瓜と排肉のスープ。雲白肉がものすごく花椒がきいていて、舌がビリビリ。ビールがすすむ。  
このクラスのレストランでも冷房なしなので汗だくになって食べる。しめて89元。

もうひとつのパンダ基地のある雅安は雨城区（雨の多い場所）、傘差しながらカメラはきついで、カルフルで雨ガッパ（自転車用のポンチョみたいなやつ。39元）を買う。

ホテルに戻って再び洗濯。両足に湿布を貼りまくり、21時前には寝オチしてしまった。

そのせいか0時頃に目が覚めてしまい、結局3時近くまでハガキを書いたり仕事をしたり。ようやく睡魔が襲ってきて6時まで寝る。

8 / 12 曇り時々晴れ

目が覚めたのはトイレの水音のせいだった。夫が先程からずっと下痢が止まらないらしい。同じ物食べてるのになんで???水分とってもすぐトイレ、もう水しか出ないと言う。日頃の行いの違いだとは言わずに正露丸を用意する優しい私www

バス移動では途中トイレにも行けないし今日は1日休養すると言うので、私1人で再び成都大熊貓繁育研究基地へ向かうことにして7時にホテルを出た。

ただ、1人でタクシーを使うのは若干不安なので、基地までバスを乗り継ぐことにした。バス停に行く途中朝ご飯に、と菜包子を買う。1元。

99番バスで動物園まで行き、198番か532番のバスに乗ればいはず。乗り場を間違えてちょっとうろろうろしたけど、8時ちょっと過ぎには入場できた。

カートに乗って仔パンダ幼稚園まで、日本人の団体客と同乗。赤ちゃんパンダの所に人が少ないので今日はじっくり眺める。うごうごしてる、あくびしてる。かわいいなあ。

昨日写真を撮った場所の入り口で準備をしている小姐に「仔パンダ幼稚園の中に入れるアクティビティは?」と尋ねると今はやっていないらしい。写真撮影は9時10分からだというのでそれまで周辺で時間をつぶす。

9時過ぎには一番乗りで並びはじめると、すぐ後ろに欧米人の母娘が並ぶ。一番乗り、ということは...パンダ登場シーンが見られる!!!!

わくわくしながら靴カバーをし、手袋をし、スモックを着る。カメラ係の小姐にビデオカメラを私ながら手ぶりで「パンダが来るところも撮ってね?」とお願いするとちゃんと通路にカメラを向けてくれた。

ベンチに座って待っていると、ちゃっちゃと床に爪が当たる音が聞こえて、パンダがやってきた!!!!

よちよちどっこいしょと歩くので途中から飼育員さんに抱えられて登場!!!!

今日は落ち着いて(?)耳も手もあんよも触りまくる。気持ち昨日よりも長めに抱っこしてきた!!!!

スモックを脱いでから、係の小姐に筆談でパンダの名前を聞くと



圓林YUENLIN、oneyear、boy

と書いてくれる。嬉しい～（泣）なぜ昨日の内に思いつかなかったんだ！自分～（地団駄）

あまりの嬉しさと感動を誰かと分かち合いたい！入場時に後ろに並んでいた欧米人母娘にもそのメモを見せてあげると、「WOW! Amazing!」と。

このメモを欲しい、と言われたので、書き写して渡してあげた。とても喜んでくれてパンダ好き同士（パンディスト同士?）、気持ちが通じたような気がしてこちらも更に嬉しくなる。喜びのお裾分けができた。

満足して、昨日は暑さに負けて回れなかった場所に向かう。

1号コテージには三頭の大人パンダ、パンダ団子を作っていたキッチンには個包装されたパンダクッキーの試食が！（食べ尽くした後で包装紙のゴミしかなかったけど）パンダ病院にもモニターやパネル展示があり、冬とはずいぶん様子が変わっている。

山の上から展示を見て歩き麓のパンダシアターまで来ると、ちょうど映像プログラムが始まるタイミングだったので涼みがてら見ていく。

パンダ繁育の歴史...という内容なのだが、途中人民大爆笑の場面があり、ここで笑うか...とちょっと驚く。

どんな場面か？

自然交配（つまり交尾）に挑む雄パンダが、奮闘虚しく雌パンダにふられる場面なのですよ。

何故そこで老若男女がドッカーンとなるかなあ？ 笑いのツボは難しい...

入り口に近いパンダ博物館のカウンターでは、投函する郵便物に「パンダ王国郵便局」のスタンプを押す事ができる。書きためた絵はがきにせっせとスタンプを押し切手を貼って投函。

すぐ隣のお土産物屋でハガキ、シール、うちわなどを買い、さすがにお腹も減ったので12時少し前に退出。

基地にも食事が出来る場所が無い訳じゃないのだけど、観光地価格だし味も期待出来ないしで利用したことがないのですよ。上野みたいにパンダカレー！とかパンダうどん！とかあれば話は別ですが(笑)パンダ焼きとか絶対こっちでも売れると思うんだけどなあ。

お腹ピーの夫から追加で熊猫爪を5個頼まれているので、昨日の露天で120元だと言うのを102元まで値切って購入し、行きと同じくバスを乗り継ぎ13時頃ホテル着。

夫、お腹は復調したと言うので、地下鉄で文珠坊まで陳麻婆豆腐店までご飯を食べに行く。  
地下鉄はやはり割高感があるのか開通して1年くらいの筈なのに人影はまばら。駅はぴかぴかなんだけど。

席につき、注文したものを待っている間に店の中まで物乞いが2人入って来た。  
身なりは大変ボロボロで、どこで集めて来たのかゴミをたくさん抱えた老翁と、少しこざっぱりした格好で花を売る中年女性。

店の人はどう対応するのだろうか？他の客は？正直ここに来られたら困るなあ、とびくびくしながら見ていると、家族連れの30代くらいの男性は老翁に紙幣を3元分渡していた。

まかないを食べていた若い女性のサービスは、何かを話しかけた後、自分が食べていた山盛りご飯を差し出した。（物乞いはご飯には手をつけなかったが）

てっきり追い出すとばかり思っていたので、この客と店員の対応には少なからず驚いた。中国の鷹揚さ、なのか。

複雑な気持ちで麻婆豆腐、素菜湯、担々麺、春巻、蒸牛肉、水餃、白飯でお腹いっぱい食べる。お腹ピーだった人が一緒ではないかって？まあ、平気でしょう（笑）

バスで天府広場まで行き、毛沢東像の反対側にある天府書城へ向かう。上海の地下鉄ガイドブックと他に数冊の本を買い、非常にたくさんの種類が出ている四川家常菜の本に心惹かれつつも、どうせ作らないしな〜と眺めるだけでやめておく。でも、どの本もフルカラーで写真いっぱい、数年前には考えられない位カラフル。中国の出版文化の進行速度はあり得ない位速い。

書城から歩いてすぐの博物館に向かうが、冬に引き続きまだ工事中。地下鉄も開通しているがあちこち工事中で出口入り口が判りづらいことこの上なかった。しばらくさまよって、16時頃帰着。

タライ一杯洗濯をして、夫は電波の旅へ。

今日は19時~21時までうとうとして（歳ですから）、夕飯はコストパフォーマンスの高い青石橋へ。

土豆（ジャガイモ）の細切り炒め、トマトと空芯菜のスープ、茄子炒め、炒飯、炸醬面で34元。満腹。そして汗だくorz

我ながらよく食べるなあ。でも肉ッ気のない野菜中心のヘルシーメニューでしょ？茄子はこの

旅行ですっかりお気に入りになった「清炒茄子」。葱とショウガと塩と鶏ガラスープで味付けというシンプルさだけど非常においしい。帰国してからもよく作った。

ジャガイモの細切り炒めも同じく。一番適しているのはメイクインだと思うが、マッチ棒より少し細い位に切ってうっすら半透明になるまで炒めてから塩胡椒で味付け。そして火力の違いが両方とも注文するとあっという間に出てくる。ビールにもご飯にも合う。最高！！

ふくらはぎと足裏に湿布を貼り、23時就寝。

8 / 13 曇り時々日ざし有り

なかなか熟睡できないまま5時起床。夫のパジャマ上下を洗濯して6時過ぎ出発。

石羊バスターミナル行きの78番バスを6時半まで待つ。7時ちょい過ぎターミナル着。7時25分発雅安行きのバスチケット48元。冬にはちまきなども売っていた売店が、お菓子やパンしか売ってないので水だけ買う。

7時15分には全員乗車したのか繰り上げ出発した。写りの悪いモニターでチャイニーズゴーストストーリー的な映画を見つつ、うとうとする。

途中雨の降っている所もあったが雅安は薄曇り。9時頃着。

夫がトイレに行っている間にターミナル内に店を出している屋台から1個1元の包子5個、揚げ餃子1元分(3個)を買う。タクシーと値段交渉の末、オンシーズンだしね、と50円で手を打つ。

途中工事中で渋滞もあったが10時10分には碧峰峡景区の駐車場に着く。今回はここからパンダ研究センター行きのバス(無料)に乗りますよ!

と、チケットを買いに行こうとすると碧峰峡駐車場にはなぜかシダのような葉っぱと鮮やかなダリアの花で作った帽子を被っている人、売っている人があちこちに。とてもきれいなんだけど...なぜ?いくらなの?老若男女誰彼構わず嬉しげに被っていて微笑ましい...けど虫が寄ってきそうだなあ...

さすがオンシーズン、チケット売り場もものすごい混雑。なにせ人民は行列という言葉を知らない。目には目を割り込みには割り込みを。カウンターにへばりついてチケットを購入。

駐車場には帽子売り以外にもお土産や小吃、なぞの野菜や穀物売る屋台(市場?)がずらり。心惹かれるけれど今回は迷い無くバスを目指す。チケット売り場に向かって右側、冬に降りたエレベーターを横目に、花帽子をかぶった人々と一緒に乗車。山道をうねうねといざ基地へ!!!

オンシーズンだけあって基地の入り口周辺の屋台も人出も冬とは比べものにならない数の多さ。基地内を走るカートにも大行列。

前に並ぶどの団体も3人以上らしく、2人分席の空いたカートが出発しようとするので「りゃんがれん!!!」とサービスにアピールして、行列を尻目に乗り込む。ああ、我ながら行動が人民ナイズされてきたなあorz

カートは帰国熊猫楽園へ一直線。

今回は足先の白いくつしたちゃんが1頭展示。みんなその辺に生えている笹をちぎっては身を乗り出してくつしたちゃんの気をひこうとしている。またくつしたちゃんも器用に受け取って食べるんだよなあ。しかし調子に乗って包子まで投げようとした人民がいたので、それは声をかけて止めさせた。(人工物はね...)

4頭展示場はちょうど餌やりのタイミングで有償ボランティアの活動の様子も見学できた。高い木の上にもパンダ。全部で10頭はいたかな？

樹上のパンダをカメラに納めるのに夢中な夫をせかして仔パンダ幼稚園を目指す。途中大人パンダの展示を覗くが暑くなってきたのでみんな寝てる。屋内展示でガラスが汚れすぎててよく見えないorz

ようやくたどりついた幼稚園も2頭が木の上、1頭が建物の陰で寝ているだけ...暑いからね...と木の上の仔達を見るために階段を上ったら、壁のすぐ下の溝に2頭寝てる！手が届きそう！！

更に階段を上ると池の所にも1頭。よちよちしててかわいい...

一周して売店でジュースを買ってひと休み。

もう一周してくるわ〜と、ビデオ片手に階段を上るとさっきの壁際の溝にまた一頭の仔パンダ。泥まみれでくうくう寝ている。

がけの所にも草に紛れて仔パンダ。こんな至近距離でこんな小さい仔パンダ、ガラス越しじゃないなんて成都でも無理！

鼻息のむふーっという音まで聞こえる。葉っぱにまみれてころんとしながら葉っぱを折ったりはむはむしていたけれど、やがてこの仔も溝に移動。うん、涼しいんだね...

は一、至近距離で仔パンダを堪能堪能。

大人パンダ展示を流し見て、比力のいた展示室でお仲間の3頭を見物して13時20分頃出口へ向かう。門の外には13時半の入場開始を待つものすごい人の群れ！

入り口近くの屋台で揚げた肉串と芋串、合わせて6元を買う。肉は骨付きベーコンらしく好吃！！芋も美味しい！！ので、追加で肉1本芋2本を買う。10元出して3元おつり。肉5元の芋1元、かな？

その屋台の横に小学3年生くらいの女の子がデザートっぽいものを売っている。柔らかめの寒天に黒蜜がかかっているような素朴な甘味。3元。

細切りにしたじゃがいものかき揚げは2元。衣にしっかり味がついていてこれも美味。

とりあえず屋台の揚げ物でも壊れない丈夫な胃腸に感謝。

おみやげ物屋で熊貓爪大2個、小1個（まだ買うのか！）を55元で買い、誰も乗ってない貸切状態バスで戻ること。

雅安行きバスは冷房など無いけれど、山中は涼しいし滝の横を通ればと冷気が来る。沿道の道ばたにはトウモロコシの粒が筵いっぱいひろげて干してある。家族総出で皮をむいたりほぐしたり。粉にするのかな？

街中に近づくと熱気が押し寄せてくる。

西門ターミナルからも成都に行くバス便があるようなので14時50分のチケットを買い車内へ。一番後の席に座ると隣に上半身裸の青年が来てちょっと驚くが、服を着てくれたので安心。

2時間揺られて石羊ターミナル着。78番バスでホテルまで戻る。

シャワー浴びて洗濯して休んで、20時過ぎ青石橋で夕飯。

清炒茄子、空芯菜炒め、雲白肉、青椒肉絲、で39元。青島ビールのゴールド500缶を2本持ち込む。雲白肉の生キュウリが美味しい（中国ではあんまり生野菜を食べる機会がない...）

青石橋の服務員の小姐が帰り際に「慢走（まんつお→気をつけてね、の意味）」と言ってくれた。

夫はホテルへ、私は翌日帰国なのでおみやげを買いにカルフルへ。調味料、ティッシュ、お茶、お菓子など購入し汗だくになって22時頃戻る。

23時就寝。明日は朝早いんだ...ANAの成都直行便は成都着が22時で発が朝9時台というのがちょっとなあ...

5時起床。荷造り最終確認して5時半チェックアウト。6時の空港行きバスに乗ると早朝で渋滞がないせいか30分で空港に着いてしまう。

出発ロビーにははじめてきたけれど空港なのに青果店がある！まあ値段は空港価格だろうけど。お土産にする人が多いんだろうなあ。黄色と紅色のもも、2個買って食べた。素朴な、品種改良されていない味。

チェックインは7時半からだというので暇をもてあまし空港内をうろうろ。国内線は早朝にもかかわらずものすごく混んでいて国際線はガラガラ。

朝ご飯を、とケンタッキーで朝食セットをテイクアウトする。ポテト、デニッシュサンド、コロッケサンド、エッグタルトで35, 5元。

7時半になったのでカウンターに行くと何と長蛇の列orzカウンターが2カ所しかないのだからさばけるわけが無い。

夫はここから烏魯木齊へ。正露丸だけ渡して（笑）ここで別れる。

カウンターがようやく4つに増えて8時半近くまで並んでようやくチェックイン。満席なんだから最初からそうしようよ...並んでいるのは日本人の方がさすがに多いかな。ツアーで来てパンダ抱っこしたの～なんて話をしている。ツアーで来られるようになったなんて幸せだよ。

出国カウンターに至っては窓口がひとつしかない有様。搭乗口近くにもおみやげ屋は有ったけれど、クレジットカードが銀聯しか使えないし、上海で売っているような物は皆無。うん、パンダプリッツは夫に頼もう...

チェックインに相当時間がかかったようで出発は9時→9時50分に。まあ、しばらくは仕方ないかなあ。

さようなら成都。再見成都。うん、さようなら、よりは再見の方が、また来るねってかんじがして好きだわ。

短かったけれどこれで夏の大陸旅行は終わりです。

後日談として、夫が烏魯木齊でまたおなかピーになって、チャイナポカリは飲んでも下から出るだけだったのに、大塚製薬のポカリを飲んだら下痢がびたりとおさまった、とか上海に戻る便に乗り遅れたけど正規料金チケットを買っていたお陰で次の便に振り替えてもらえたとかまあ色々あったんですが。とりあえず無事で、上海で頼んだオーダーメイド服の数々は大変着心地よく、私はあるたくらみをするのですがそれはまた次の旅行記で。

## 【 夏旅備忘録！ 】

大陸の食堂は冷房が無いことが多い、ので着替えは少し大目に。乱暴に洗ってももしくは破れて捨ててきても惜しくない服（苦笑）その方が人民にとけ込めていいんじゃないか？

汗かいてあせもが出来たりするので携帯用孫の手は持って行って正解！

かゆみ止めと虫除けも。洗濯回数が多いので洗剤も大目に。

クエン酸と塩分補給にカリカリ梅が大活躍！必携だと思う。

足裏用湿布も必須。日傘よりは帽子の方が楽...かな？

さて、準備も出来たので2012夏大陸旅行に行ってきます！（笑）

この旅行記は2011年の8月の情報に基づいて書かれています。

現地の現在の状況と違っている場合もあります。情報の取捨選択はご自身の判断でお願いします。

長らくお付き合いありがとうございました～